

府科事 272  
令和3年6月25日

長岡バイオエコノミーコンソーシアム 殿

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 統括官  
柳 孝

地域バイオコミュニティの形成に係る選定結果について

地域バイオコミュニティの形成について、審査の結果、以下のとおり地域バイオコミュニティとして認定することとなりましたので通知します。

記

1. バイオコミュニティの名称  
長岡バイオコミュニティ
2. 審査の結果  
地域バイオコミュニティとして認定
3. 審査を踏まえたコメント  
別紙参照のこと

(別紙)

### 審査を踏まえたコメント

長岡市のコミットメントの下、既存の産業が中心のコンパクトなコミュニティを志向し、バリューチェーンを十分に意識しつつ、コメや有機廃棄物を活用しようとする計画は、国益にも資するものであり、高く評価できる。

既存の産業の継続に加え、これまで地域で培ってきた基盤を生かした新産業（水イノベーション、発酵イノベーション）の創出のためには、産学官連携により、コミュニティ全体で資源循環やSDGsのモデル地域としての価値を高めていくことが重要である。その際、技術の発展・応用を支える観点から、高専との強固な連携は大きな強みになると考えられる。

他方、コミュニティの発展に伴い、その活動が長岡の町おこしだけではとどまらなくなる可能性があるため、グローバルな構想を深めていく必要がある。外部から新たに人材・投資をコミュニティに呼び込むための方策を含め、長岡から展開する国際的なインフラ輸出等の戦略について、継続的に議論していただきたい。

コミュニティの形成により、構想を更に発展させ、次の産業の創出や流通の強化、国際性の向上につなげていくことを期待する。